

～ねんきん定期便～会社の“支え”も 見えるように

毎年4月に従業員のもとへ届く「ねんきん定期便」ですが、その中身が少し変わるようです。

今回、厚労省が発表した見直しでは、これまで定期便に言及されていなかった「事業主負担分の厚生年金保険料」が新たに明記されることになりました。簡単に言えば、これまで「従業員が自分で払った保険料」しか見えていなかったものに、「会社が半分負担している分」もプラスされるということです。要するに、会社が年金制度を通じて、どれだけ従業員を支えているかが「見える化」されるんです。

多くの従業員は、毎月の給与明細で天引きされる保険料の「自分負担分」しか見る機会はありません。会社が同額を負担しているということは、意外と意識されていないのです。会社が「福利厚生」として支えている金額が可視化されれば、従業員の制度理解が深まるだけでなく、「会社が自分の将来をちゃんと考えてくれている」と感じてもらえるきっかけになるかもしれません。

もちろん、この変更だけで社員との信頼関係が一気に高まる…なんて都合のいい話ではありませんが「見える化」されたこの機会に、会社への印象が変わったり、社員の意識に変化があるかもしれませんね。

メールマガジン配信希望の方は下記メールアドレスまで「連絡くださいませ」。